

∞ ご寄付ありがとうございました ∞

* 前回ご紹介して以後さらに 4 名の方から、給食用にと、合計 19,400 円ご寄付いただきました。ありがとうございました。4 月まで 4 ヶ月間の臨時給食とお知らせしましたが、今は夏休みに入りました。4 月 8 日の衛星放送(フィリピンのニュースは毎朝 9 時台です)で、ミンダナオ南部が特にこのエルニーニョがらみの干ばつがひどく、その中でもサムラングがあるサランガニ州が最悪で大統領は緊急支援を決めたと伝えていました。

今学校菜園で給食用作物栽培を試みっていますが、これも雨頼みです。上記のご寄付もこの給食用菜園経費に当てさせていただきます。ご協力に深く感謝いたします。

* ジェネラルサントスの「サランガニ州先住民族事務所」がさる 1 月末に何者かにすっかり荒らされ、医薬品、入院費、ファックス、タイプライター等すべての備品が持ち去られました。ここにはサムラングのクリニック担当でもある看護婦メルリルが常駐して、山から運ばれる重症患者の入院手続きなど一切を受け持っています。一部会員から緊急支援でご寄付をいただき、一時ショックで仕事が手につかなかった彼女もようやく HANDS への報告作成などの業務に復帰したそうです。

* 「南の島に木を植えて下さい」と、北野さんからまた多額のご寄付をいただきました。前回のご寄付ですでにアトゥモロックのアグロフォレストリーが始まっています。ハンセン氏病の後遺症とご高齢もあって、残る感覚は唇の触覚だけです。非常に生育が早く、7 年ぐらいで伐期を迎える樹種があります。その生長をご報告できるように、おなじく植林をとの主旨で月々ご寄付下さっている篠原さん初め皆様のご協力、慎重に、しかしなるべく早く、サムラング周辺の荒れた山を緑にする事業を始めたいと思っています。

* ほかにも会員、非会員の皆さまから多くのご寄付をいただきました。ありがとうございました。これまでと同様、誌面の関係で、賛助会員、一般市民からのご寄付のみ紹介させていただきます。どうぞご了承ください。

長谷川幸子様(東京) 山崎アヤ様(新潟) 北野実様(静岡) 市川美穂様(東京) 森岡律子様(岡山)

(1998. 2.13~1998. 4.10)

∞ 会員情報 ∞

新入会員(敬称略): 正会員 R-34 金原(東京)・すでに奨学会員で入会されています。
奨学会員 E-71 荒井(千葉) E-72 宇田(千葉) H-17 高瀬(埼玉)
賛助会員 S-17 市川(東京) (1998. 2.12~1998. 4.10)

∞ 次回例会お知らせ ∞

次回は 6 月 13 日(土)を予定しています。おかげで会発足 2 年になりますので、6 月例会は第 1 回総会を兼ね、会則、役員、会計報告などの検討、承認をお願いしたいと思っています。

この 3 月に NPO 法が成立し、HANDS のような NGO も任意団体でなく法人として認められる道が開かれました。しかし、寄付に対する税金の控除は今回見送られましたし、メリットは特にないという意見も多く聞かれます。このような点も含めて皆様にご検討いただければと思っています。詳細は後日連絡させていただきます。

ミンダナオ先住民族「ビラーンの医療と自立を支える会」Health Assistance & Neighborhood Development Support 略称 HANDS 事務局: 〒227-0033 横浜市青葉区鴨志田町 516-11
TEL:045-962-0824 FAX: 045-962-1933 E-Mail: hands-ty@246.ne.jp